

わかば

創刊100号



100
号

ごあいさつ

厳しい夏が過ぎて



会報「わかば」が創刊100号となりました。1929年に会報「若葉」としてタブロイド判で始まった会報ですが、1955年に「わかば」と名称を変えて第1号が発行されています。その後B5版になり、カラー化が進み、そして8年前にA4版へと進化してきました。その時々同窓生の話題を集めた紙面は、各時代を記録するものとして一つの歴史となっています。編集に携わった歴代の事務局の方々に敬意を表するとともに、デザインを一新した100号が次の歴史につながっていくよう願っております。

今年度の総会は5月17日(日)に母校の音楽講堂で開催しました。ホームカミングは8の付く卒業回でしたが、卒業後70年の8回から卒業したばかりの78回までの計171名を含めて、全体で約250名の参加がありました。今年は同窓生による合唱や楽器演奏の参加者が増え、例年以上に盛り上がる会となりました。

ワカバ会会長 三輪 真 (三田22-6)

ワカバ会は今年で設立から98年です。100周年まであと2年となり、祝賀行事や記念誌の企画・準備を進めております。祝賀行事は多くの会員に参加いただけるよう、高輪ゲートウェイ駅に隣接した新しい大型施設で開催する予定です。また記念誌では、幅広い年代に共通する懐かしい話題を多く取り上げようと計画しており、会員の皆様にもご協力いただきながら進めたいと思っております。

見学会や観劇などの企画行事については、例年同様に多彩に実施しております。最近観劇が人気ですが、特色ある企画もありますので奮って参加されるようお待ちしております。現役の生徒を支援する奨学金制度については、経済的に厳しい生徒を援助する丸山記念奨学金と、夢を追う生徒や部活の支援などを行う桂葉奨学金の二本立てで運営しております。奨学金が役立った、部活で上を目指すことができたとの報告も届いておりますので、引き続き継続していく予定です。

ワカバ会では同窓の皆様の交流の輪を広げる活動を続けてまいりますので、引き続き皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ワカバ会の皆様へ

三田高等学校長・ワカバ会名誉会長 齋藤 直子



本年4月に東京都立三田高等学校長として着任いたしました齋藤直子です。5月のワカバ会総会・懇親会では、多くの皆様とお会いする機会をいただきありがとうございました。皆様の三田高校への深い愛情と誇りを、肌で感じることができました。改めて、広報誌「わかば」第100号の発行を心よりお祝い申し上げます。

三田高校は、ワカバ会の皆様をはじめ、多くの先輩方が築いてこられた伝統と信頼の上に成り立っています。その精神は今も生徒たちに受け継がれ、さまざまな場面で発揮されています。特に、今夏の生徒たちの活躍を紹介させていただきたいと思います。皆様もテレビなどでご覧になられたかもしれませんが、本校の野球部マネージャーが、第108回全国高等学校野球選手権大会開会式の先導役として甲子園の舞台に立ちました。都立高校の甲子園出場は、都立三田高校が5校目となります。また、ダンス部は全国大会に出場し8位入賞を果たしました。吹奏楽部は、東京都高等学校吹奏楽コンクールにおいて、B組・C組ともに金賞を受賞しました。生徒たちの日頃の努力は、大きな成果となって実を結んでいます。

また、本校は東京都の新規事業である「学校提案による都立高校魅力向上プロジェクト」に応募しました。毎年1000万円

が3年間支給されるプロジェクトです。惜しくも6校には選ばれませんでした。しかし、本校が提案したビジョンである「100年の歩みと未来 ～三田で拓く世界への道～ For the next 100 years!」の精神は、今後も変わることはありません。伝統ある三田高校の100年の歩みを大切に受け継ぎながら、その先の100年に向けて世界へ羽ばたき、未来を切り拓いていこうという願いを表しています。

このビジョンの実現に向けては、ワカバ会をはじめ多くの皆様のお力が欠かせません。今後、教育環境のさらなる充実や新たな学びの創造のため、クラウドファンディング等による支援についても検討しております。その際には、母校を愛する同窓生の皆様のご理解とご協力を賜れば幸いです。

ワカバ会の皆様が集めてくださった100年の歴史を礎として、生徒たちとともに次の100年の三田高校を創ってまいります。今後とも温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



総会報告

2026年度一般社団法人ワカバ会総会 副会長 平山 孔嗣 (三田29-2)

2026年度総会は、5月17日に通常の対面総会を招集したところ、ホームカミングの皆様171名を含め出席者245名のご出席を賜り、盛大に開催されました。

場所は音楽講堂にて懇親会形式のテーブルのもとで、卒業生合唱団ヤングリーブス、卒業生楽団の三田フィル及び百周年に向けてのスペシャルチームを迎え、新旧校歌斉唱から始まる恒例のワカバ会総会になりました。

会長挨拶、名誉会長(校長)挨拶に続き、議事に入り、事業報告、決算など慎重審議の上、会員の皆様のご協力により、議案は賛成多数にて承認可決されました。

引き続き懇親会に入り、ヤングリーブス&スペシャルチーム再びの登場で盛り上がったのち、名誉会長のご発声で乾杯の後、懇談になりました。校長先生、副校長先生、恩師の横田先生、御子柴先生、近藤先生、理事からは上田先生、田中先生、嶺先生も参加され、会員の皆様との会話が弾んでおりました。また恒例行事である福引も大いに盛り上がり、大先輩から新卒業生までの笑顔が見られました。

ケータリング会社も定着し事務局の頑張りとともに何とか出席者の皆様に喜んでいただける料理を提供できたのではないかと思います。

ただ参加人数が大盛況だったため、一部会場のレイアウトがうまくゆかず、会員の一部にご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、次回への課題として改善を図りたいと思っています。

会員の皆様にはご自愛され、来年も笑顔で集うことができまようご祈念申し上げます。



車椅子で70年ぶりの母校訪問

清澤 暢人 (三田8-2)

8回生の私は、左足手術により現在車椅子生活を送っている。今年ホームカミングデーに該当するとのご連絡を頂き思い切って車椅子(自走式)で70年ぶりに参加した。8回生のテーブルに現れたのは7名(男性4、女性3)、思い出話に花が咲いたが多くの友が鬼籍に入っていることを知り心が痛んだ。会が行われた建物や校舎は私の卒業後建てられたもので、記憶にあるのは「オセンチ山」ぐらい。70年という歳月の長さを痛感した。しかし周辺は、隣の旧郵政省建物は高層ビルに変わって

いたが、オーストラリア大使館、旧三井邸、「綱坂」や「日向坂」などに70年前の面影を探ることができた。2年の時習ったこんな漢詩が心に浮かんだ。

「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」※

いろいろとご面倒をおかけしたワカバ会スタッフの方々に、お詫びかたがたお礼申し上げます。

※花は年ごとに変わることなく咲くが、人の境遇は年ごとに変化していく。自然が変わらないのに対して、人の世ははかなく移りやすいことのたとえ。

ワカバ会100周年カウントダウン企画 ワカバ会総会で歌おう、出演者募集!

懐かしい三田高校校歌・愛唱歌(心の熱いうちに)を歌いませんか? 併せて、ワカバ会100周年に向けて、ベートーベン第九「歓喜の歌」も歌いましょう! 事前指導・指揮は、三田高校46回卒業で、今もクラシック音楽界の第一線で活躍する、東京芸大卒音楽博士、テノール歌手の志田雄啓さんです。本格的ながらユニークで分かりやすいと定評のある歌唱指導で、あなたの隠れた才能が引き出されることでしょう。参加ご希望の方は、QRコードより、お申込みをお願いいたします。詳細

が決まりましたら、メールでご案内申し上げます。皆様のご参加、心よりお待ち申し上げます!!

※事前指導(参加任意)・4月~5月の週末、計3回程度

※参加費1回につき1,000円

※練習場所:未定

※総会は2027年5月中旬を予定

※スケジュールは決まり次第ご連絡申し上げます。

連絡先:志田雄啓(三田46-1ワカバ会理事)

<https://docs.google.com/forms/d/...>



2027年度
総会の
お知らせ

来年度も対面で総会・懇親会を開催する予定です。

ホームカミング該当の方には後日ご案内を送付いたします。詳しくは春号でお知らせします。

〈ホームカミング
該当学年〉

第六高女全学年、三田9回生(1957年卒)、三田19回生(1967年卒)、
三田29回生(1977年卒)、三田39回生(1987年卒)、三田49回生(1997年卒)、
三田59回生(2007年卒)、三田69回生(2017年卒)

ご案内

新発売!

制服を着た **ハローキティ**



購入ご希望の方は
ワカバ会事務局まで
お問い合わせください

行事案内

◆第45回ワカバ会観劇会 「新春浅草歌舞伎」

日時: 2027年1月15日(金) 11:00開演

場所: 浅草公会堂

料金: 一等席9,500円(お弁当付)(通常チケット料金10,000円)

締切: 2026年11月10日(火)

出演: 中村橋之助、市川染五郎、市川團子、尾上辰之助、中村蒼玉

演目: 未定



緊急追加!!

◆第47回ワカバ会観劇会 シルク・ドゥ・ソレイユ アース製薬 クーザ 東京公演

日時: 2027年3月12日(金) 13:00開演

場所: お台場ビッグトップ

料金: SS席10,800円(通常SS席15,800円)

締切: 2026年11月18日(水)

人数: 30名(先着順)



公式サイト

維持会費

納入にご協力ください!!

会員専用ページにて閲覧可能

第23回同窓会ギャラリー

9月8日から9月15日まで同窓会ギャラリーをホームページ上で開催しました。

出展して下さった同窓生の皆様、ご覧いただいた皆様ありがとうございました。

敬称略・順不同

ワカバ会ホームページ「トップページ」⇒「企画行事」⇒「第23回同窓会ギャラリー」よりアーカイブで閲覧いただけます。



三田8回生 澁澤(吉田)和子
左 クロスステッチ刺繍
「親子」W42cm×H38cm
右 カリグラフィー
「Sound」A4



三田12回生 鈴木 茂晴
デジタルアート
左「にこやかに、穏やかに Desire ワクワク」
右「にこやかに、穏やかに Effort ドキドキ」
A4



三田16回生 町野 重光
水彩画
左「八王子城跡でトロンボーンを吹く女性」
右「銀座三越の開店を待つ人々」
W295mm×H195mm



三田16回生 田原 和男
水彩画
「ある日の銀座4丁目」
W353mm×H270



三田19回生 片山(中山) 優子
着物リメイク
「ワンピース」



三田25回生 影井 良貴
写真
左「招き猫の登場！」
右「向こう岸」
A4



三田26回生 田澤(吉村) 恵子
シャドウボックス
「歌舞伎絵」
(W28.5cm×H35cm×D4cm)

三田19回生 中川(川北) 未知子
水墨画
「知床プレベの滝」(10号)



三田28回生 遠山(波田野) 順子
日本画
左「毯のスイートホーム」
右「無となす(六つの茄子)」

三田28回生 引間(和田) 幸子
さおり織
「無心」35cm×180cm



三田39回生 瀧澤(小島) 直美
カルトナーージュ
「Quilter's box」
(W36cm×D22cm×H19cm)



三田28回生 前田(中嶋) 乃扶子
フレスコ画
「無題」
H48cm×W37cm



三田32回生 小幡(平田) 則子
シャドウボックス
「猫とピアノ」
(W32cm×H27cm×D4cm)



三田71回生 進藤 あすか
写真
「帰り道」



三田42回生 児玉 章子
書
「眠雲臥石」
H145cm×W45cm

行事に参加して

我が青春の映画がミュージカルに！ 61歳→17歳へタイムトラベルした日

無人の道路でも、デロリアンが出てくる可能性があるから注意しろという教えがあるくらいバック・トゥー・ザ・フューチャー（BTTF）好きの我が家。1985年全世界最高興行収入を上げたアメリカのSF映画に出会ったのは、高3？大学1年？40年以上前のこと（笑）。

映画の世界観をどのように表現してくれるのか、ワクワクが止まらず浜松町駅からの足取りは（心の中で）スキップ。劇場の席に座れば、そこはすでにBTTFの世界。細かいネタがそここちに。幕が上がれば、劇団四季らしい群舞やコーラスに心躍る部分と、ユニバでアトラクションを楽しむようなエンタメ感のバランスが最高。ネタバレ覚悟でひとつ言わせていただくと「デロリアンの疾走感」がすばらしいです。これから観る方、お楽しみに！

さて、劇場では先輩たちにもお目にかかりました。還暦を過ぎた私でも、先輩たちから見たら「あら、お若い」。現実も、ちょっとしたタイムトラベルだったのです。

（2026年3月28日実施）

K. S. (三田35-5)



撮影：阿部章仁

花のように香れ「女流義太夫」を鑑賞

2026年度企画委員会主催行事一覧表No.1の場所欄の巖市立文化ホール「くるる」に目が止まり表題の行事に参加した。（同ホールは家から徒歩10分位）

行事の備考欄に同窓生の人間国宝 鶴澤津賀寿さん（三田28-1）出演とある。義太夫の意味もわからず、辞書で調べ、浄瑠璃の異称で日本音楽の一種目で、三味線を伴奏に使い、せりふと旋律によって物語を薦めていく音曲の総称であると理解する。

第1話は三味線と琴の旋律と、独特な発声でのせりふが一体となってストーリーを進めていく音曲に夢中で聞き入りました。

第2話は3人の三味線と2人の浄瑠璃。迫力ある旋律とうたいが作りだす、立体的な場面。物語の場面を、芝居を見ているような感覚で感激の時を過ごしました。各出演者に感服です。

この公演は若い伝承者の育成をして、また当ホールで定期的に公演されているそうです。

（2026年7月7日実施）

小久保 弘子(薮) (三田10-3)



中央が鶴澤津賀寿さん

筑波宇宙センター見学会に参加して

展示館では初の人工衛星「きく」や日本実験棟「きぼう」の実物大モデルなどを見て、宇宙開発の挑戦と発展の歴史を体感しました。人工衛星がどのように発展してきたかを見ることができ、これが現在の衛星に生かされていることを考えると大変感慨深い展示でした。JAXAに40年間お勤めされていた三輪田会長が案内と解説をしてくださいました。

次の見学ツアーの「きぼう」の宇宙管制室では、24時間体制で宇宙飛行士と一体になり運用され、宇宙開発を支える人々が担当分野ごとに、静かに画面と向き合っていました。最後に見た閉鎖環境訓練施設では、最も重視されるのは「協調性」という説明が心に残りました。宇宙環境でお互い信頼関係を作れるかが大切だそうです。

宇宙開発は先端技術分野であると同時にチームワークだと深く実感した見学会でした。

（2026年7月25日実施）

M. H. (三田28-7)



東京タワーが舞台上に出現！ ～黒蜥蜴は三田高を見たかも？

江戸川乱歩原作、三島由紀夫戯曲「黒蜥蜴」美輪明宏さん主演の映画版をTVで見て、これが宝塚でどう演じられるのかと興味が湧きました。時は東京タワー開業間もない頃。昭和の香りを漂わせ、春乃さくらさんの妖艶で狂気と孤独を合わせ持つ黒蜥蜴は見事でした。

トップ桜木みなとさん演じる明智小五郎との歌による駆け引きの場面には引き込まれました。宝塚らしさを失わずに耽美な世界を作りあげていて、見応えのある舞台でした。

ショー「ダイヤモンドインパルス」は一転して、明るくエネルギッシュでキラキラの世界。2階席でしたが銀橋がすぐ下に見え、男役さんが色とりどりのキラキラの衣装で銀橋を埋めつくした時は眼福でした。

3時間はあっという間に過ぎてしまいましたが、明日への活力となりました。

素敵な企画をいつもありがとうございます。

（2026年8月29日実施）

S. S. (H) (三田33-2)



ワカバの輪

歳男・歳女の同期会

2026年5月23日(土)に品川で25回生の同期会を開催しました。これまで4年毎に開催していましたが、今年は歳男・歳女でもあるため、区切りの意味もあって3年振りに開催しました。

卒業して54年。生まれは昭和29年(1954年)。生まれる54年前は明治33年(1900年)。日露戦争の4年前です。54年という歳月がいかに長い期間であるかを感じさせられます。

一次会は総勢85名、二次会も59名の参加がありました。特別ゲストとして、2年生の夏にアメリカに留学し、卒業は1年後輩となる相磯君をご招待しました。

乾杯の後、病氣自慢と孫自慢は禁止して、昔話や近況報告の話に花を咲かせました。思い出がたくさん詰まったオセンチ山はまだあるのでしょうか。

尾澤 一重 (三田25-6)

次回は4年後に開催できるかな。いや後期高齢者に突入する3年後に開催しようかという声もあがりました。それまでみんな元気で過ごしましょうと再会を約束してお開きになりました。



浦本 雄次 (三田26-7)

絡してね。

色んなところでいろんなクラス会、プチ同期会をやって、それぞれ親交を深め、そしてまた大勢で同期会ができればいいなんて思ってます。次はいつかな? みんなよろしくね。

三田高大好き小僧



26回生古希を寿ぐ会

5年毎の同期会、2年前にやったばかりでしたが、全員が古希になった時にやりたいという藤田幹事長の強い思いで5月16日に銀座で同期会を実施しました。

節目の年95名の参加となりびっく大盛況でした。一人一人の今が聞きたくて、壇上で挨拶をしてもらいました。皆んな前向きで人生を楽しんでおり、また活躍もしています。70から新しい事を始めたと言う人も何人もいました。ほんとに素晴らしくまだまだ聞きたかったです。1時間を超えましたがその間全員がしっかり聞いていたのも凄いな。

卒業以来初めて参加してくれた人も何人かいました。周りに人が集まり笑顔が弾けてました。みんな嬉しそうでした。

足が遠のいてる人大丈夫ですよ。三田高で育ったというペースでみんな繋がっていますから。みんな会いたがってますよ。

まだまだ会いたい人がいるなって事で10月に初の1年2組のクラス会をやる事にしました。連絡ついてない人、事後でもいいので連

古希一步手前の28回生のホームカミングディ二次会 矢島 美知子 (三田28-3)

前回の私たち28回生のホームカミングディでは大いに盛り上がり、二次会をしようとしたものの、日曜の急とあって店が見つからず、そのまま解散。そこで今回は、事前に店を予約し9年前の還暦同期会参加者にメールで二次会の案内したところ、夕方なら参加できる仲間も加わり、欠席者から届いた温かいメッセージも一覽にして皆で共有しました。

当日は飛び入り参加も続々と加わり、47名が集合。懐かしい顔が揃い、会場は笑顔と歓声でいっぱいになりました。28回生には、作曲家の〇さん、年々若返るEさんをはじめ、個性豊かなスターが大勢おり、Wさんの名司会で熱気は最高潮に。一夜漬けで作った「三田高クイズ」は少々難問ですべりましたが、2年後の三田高校創立100周年に合わせ「古希同期会」を開くことになりました。

この開催に尽力してくれたYさん、〇さんをはじめ〇邸の飲み会メンバーの皆さんに心から感謝します。28回生の皆さん、次は古希の同窓会で元気に会いましょう!



三田フィルハーモニーオーケストラ 第34回定期演奏会 M. Y. (三田45-4)

去る5月31日、めぐろパーシモンホールに700名を超えるお客様をお迎えして、定期演奏会が開催されました。

メインのプログラム「交響曲第1番」は、20年前にも演奏した思い出の曲でした。私はその翌年に子供を授かって休団し、楽器に触れる機会もないまま、いつしか15年の時が過ぎていました。私の長い「産休」が明けたのは、団員からの誘いがきっかけです。気後れしつつ練習に参加した私を、三田高管弦楽部時代から変わらない温かな雰囲気を迎えてくれました。同期会LINEをきっかけに定演に駆けつけてくれる同級生がいたり、演奏会の前週にワカバ会総会で演奏機会を頂いたり、三田フィルは温かいつながりに支えられています。

次回の35回定期演奏会では大曲に挑みます。同窓生の皆さま、楽譜と向き合って仲間と共に音楽を作り上げる、かけがえない時間を一緒に過ごしませんか。管弦楽部出身でなくても構いません。お待ちしております!



会報100号記念特集

～文字で紡いだ
「わかば」の軌跡～

繋ぐ

ワカバ会広報委員長 理事 田中 浩 (三田32-5)

私が三田高校に赴任したのは、1993年の4月。ほぼそれと同時に、当時のワカバ会の若葉会長から連絡があり、ワカバ会の理事になりました。ワカバ会には各種委員会があり、私は広報委員に任命されました。この広報委員というのは、広報誌「わかば」を編集し、発行するというのが仕事です。右も左もわからず、あっという間に巻き込まれたというのが当時の素直な感想でした。

広報誌「わかば」は、当時はまだ年1回の発行でしたが、1993年の時点では、3月に35号が発行されており、実際に私が関わるようになったのは次の36号からだったのだというのが、後から調べて分かったことです。ワカバ会のホームページで振り返ってみると、第1号の発行は1955年に遡ることがわかりました。当時は写真も含めてすべて白黒印刷で、枚数も少なかったのですが、徐々に分量も増え、現在のような形へと発展していきました。年2回発行が行われるようになったのは、1995年のことです。ここから、春号と秋号の発行がスタートしました。2回発行の主な理由は、同窓生の親睦をより一層深めることと、三田高校のより一層の発展である、と当時の小野会長が会報誌で述べられているとおりです。

編集の打ち合わせは、現在もある三田高校6.5階のワカバ会事務局で主に行われていました。このころはまだ、高校の授業は土曜日の半ドンがあったので、土曜日の午後や夏休み等

を利用して行っていたように記憶しています。この頃は、編集委員長の小川さん、それから理事である戸田先生(三田高校全日制から定時制へ転任)を中心に行われていました。その後、事務局の村木さん、理事になられた田村さん、そして現在の頼もしい櫻井さん(旧姓綱島さん)へとメンバーは変わっていき、打ち合わせも田町駅の近くのコージーコーナで行われるようになっていきました。

「わかば」のトピックの一つである「私の近況」「同窓生訪問」というコーナーでは、実にたくさんの方々にインタビューや執筆をお願いし、大変感謝しています。私が立ち会ったインタビューでは、漫画家の高河ゆんさんと宮崎先生の話が印象的でした。何より、そういう方を発掘し、連絡を取りつけてくださった事務局の方々には頭が下がる思いです。本当にありがとうございました。

思い返せば、もう33年。おそらく、母校に赴任していなければワカバ会とも「わかば」とも関わることはなかったのだろうなとめんどくさがり屋の私は思っていますが、いろいろな縁で現在があるのでしょう。この先、何があるのか、どうしていくのかは、わかりませんが、「わかば」を通じて我々を繋ぐ糸が蜘蛛の糸のように広がっていけばいいと思っています。

「わかば」はこれで100号。ワカバ会は2028年で100年を迎えます。

1. 産声を上げた戦前、「若葉」から「わかば」への黎明期

昭和4(1929) 「若葉」創刊号発行

16(1941) 第16号をもって大東亜戦争のため廃刊

24(1949) 大東亜戦争後、復刊

30(1955) タブロイド判 「わかば第1号」発行 (A)

(A)
わかば1号

会報のルーツをたどると、戦前の昭和4年にまで遡るようです。「府立第六高等女学校同窓会」の発足に伴い、「若葉」という名で最初の産声を上げました。その後、昭和16年、戦争のため会報廃刊との記録があります。残念ながら、それ以上の資料はなく、現物も保管されていません。

終戦を迎え、世の中によりやく平穏が戻り始めた昭和24年、会報はいち早く復刊を果たします(現存する資料なし)。その後の足跡も不明ですが、昭和30(1955)年7月、タブロイド判「わかば第1号」が装い新たに発行されました。この第1号が会報「わかば」の始まりです。

当時の「わかば」は4ページのタブロイド判でしたが、内容は非常にバラエティに富み、



内容の濃いものでした。会員の近況報告や観劇会のお知らせなど、今も踏襲している記事もありますが、何より目を引くのは広告の数々。会員と縁のある大手企業から、個人経営のお店や事務所、料理教室や手芸教室まで多岐にわたる広告が1スペース(10cm×6cm)1,000円で掲載できたようです。維持会費が100円の時代にちょっとお高い気もしますが、多くの広告が寄せられました。(B)

ワカバ会主催の講習会も多数開催されていたことが記録されています。驚いたことにマッチングアプリ的な出会いの場の提供や住宅情報的な仲介も行っていたようです(13号「よろづ申込所」より)。現在大人気の企画行事「宝塚」や「前進座」の観劇会がなんと、タブロイド判の時代からありました。私ども事務局も今回初めて知った事実です。先人から導かれているような気がします。(C)、(D)、(E-1~4)

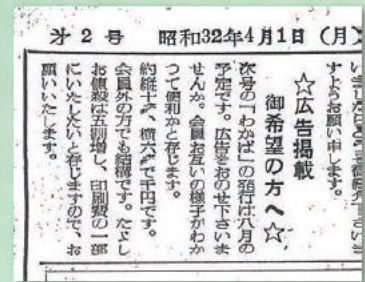
(D) 13号_たくさんの広告



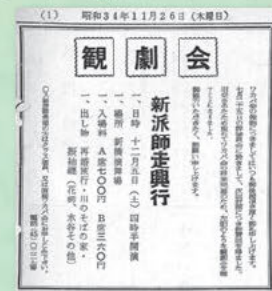
(C) 13号_よろづ申込所



(B) 2号_広告募集



(E-1) 7号_新橋演舞場観劇会



(E-3) 10号_宝塚公演



(E-2) 9号_年忘れ爆笑公演



(E-4) 19号_前進座

観劇会のお知らせ

前進座12月公演

勸進帳・雨あがる

日時 12月7日(月) 夜の部

会費 2,888 1席目

ご希望の方はワカバ会にお電話下さい。

(F) 29号_B5判に



2. 激動の昭和・平成から令和へ時代の流れを映し出す鏡

昭和62(1987) 29号よりタブロイド判からB5判12ページの冊子タイプへ (F)

平成 7(1995) 37号より春・秋の年2回の発行へ

13(2001) 50号より表紙・裏表紙のみカラー化 (G)

16(2004) 55号より維持会費納入者リスト同封開始

25(2013) 74号よりオールカラー化 「わかば」ロゴを横書きに変更 (H)

30(2018) 83号より大幅リニューアル(創立90周年) (I)

A4判ヨコ書きへ

アートディレクター秋山具義さん(三田37-4)デザインの表紙へ一新

令和 8(2026) わかば100号発行

28号までタブロイド判の会報が続きます。それまでの間、1974年から1977年まで会報が発行されない空白の期間がありました。ただこの謎の3年間の資料がありません。謎を解明出来る方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

ワカバ会の歴史を振り返るにあたり、軽井沢山荘は外せません。平成22(2010)年に惜しまれつつも閉荘するまでの約40年間、ワカバ会の一大事業でした(68号閉荘特集)。それを物語るかのように、会報でも山荘の紹介記事は多く見られます。軽井沢の散策マップなど、便利な記事まで(33号など)。宿泊予約開始日はまるで「ぴあ」のコンサート

会報100号記念特集

チケットの購入を思わせる激戦だったことも懐かし思い出されます。(J)

「オセンチ山の思い出」(52号・54号・56号・58号・60号)や「三田わが町」(58号・64号・68号・70号)など単発のシリーズコラムも皆さんの共感を呼びました。

また、「先輩お元気ですか」(56号・58号・60号・62号)は後輩にとって、とても貴重な特集でした。当時広報委員としてご尽力くださった村木真知子さんより会報編集の思い出についてご寄稿いただきました。

(G)
50号_
表紙カラー化



(H)
74号_ロゴ横書きに



(I)
83号_大幅
リニューアル



(J)
33号_軽井沢マップ



心に残っている記事(51~70号)

村木 真知子(岸川) (三田24-2)

初めて会報の編集に参加したのはわかば51号の時で、かれこれ25年も前のことです。それから10年間、わかば70号まで関わらせていただきました。もし、多くの記事の中で特に心に残っているものがあるか、と問われたなら、「先輩お元気ですか」のシリーズ(全4回)と答えると思います。

三田高の前身である府立第六高女の先輩を囲んで後輩2~3人がお話を聞くという企画ですが、名ジャーナリストの田村

和子さん(大脇)(三田10-5)の確かな筆力もあって、読み応えのある記事になりました。通信簿なし、体育祭なし、という第六の自由な学園生活、一転して悲惨な戦時下、そしてその後の人生の歩みについて語っていただきましたが、先輩方の凛とした生き方には感服しました。「あなた方も頑張ってるね」と先輩が後輩にエールを送ってくださったのだと思っています。

「同窓生訪問」(66号・70号・74号・76号・78号)では各方面で活躍する同窓生をご紹介しました。実際にインタビューをして生の声をお届けしました。現在は「同窓生は今」(86号・92号・96号・98号)とタイトルを変えて踏襲しています。まだまだワカバ会で把握できていない活躍されている同窓生がいっぱいだと思います。是非、情報をワカバ会までお知らせください。

52号から57号では表紙で同窓生の芸術作品を紹介しました。この試みが現在の「同窓会ギャラリー」に繋がります。(K)

55号から始めた維持会費納入者リストは、当初は納入してくださったお礼をお伝えする意味で同封していましたが、いつしかご友人の安否確認としての役を担うようになるという思わぬ効果がありました。

その後、紙面もマイナーチェンジや判型リニューアル、カラー化など時代に合った会報を届け出来るよう変化をしています。特に83号から99号までは、「まるちゃん正麵」のパッケージやバリ五輪のフェンシングチームユニフォームのロゴデザインなどで活躍されているアートディレクター秋山具義さん(三田37-4)のデザインの表紙に一新。同窓会会報の常識を覆す斬新な会報となりました。

リニューアルの試みが始まった2000年から18年間、会報、記念誌の編集の中心となり広報委員会を先導してくださった田村和子さんより「わかば」への思いをお寄せいただきました。

(K) 54号_表紙
「同窓生の芸術作品シリーズ」



会報がつなく母校の歴史

田村 和子(大脇) (三田10-5)

ワカバ会会報100号発行おめでとうございます。
美しいカラーと斬新なデザインの「わかば」は郵便物の中でも目を引き、いつも一番に手にとります。

代々の会長、副会長、理事の方々、そして何よりも優秀かつ強力な事務局の方々の長年のご尽力に心から感謝申し上げます。

私が三田高校に通った3年間は、東京タワーが建設中で、鉄骨の骨組みが一段一段組み上がって行く時期でした。

大学を出て通信社の科学記者として37年間働いていた間は、ワカバ会とは無縁でしたが、60周年記念誌の編集をお手伝いしたご縁で、2000年から18年理事、広報委員を務めました。

日本はこの間、経済復興、高度成長、やがてバブル期、停滞

期、そして不安定な21世紀へと社会全体が大きく変化し、ワカバ会の運営にも変化、進展の大波が押し寄せました。公益法人から一般社団法人への切り替えや、ユニークな軽井沢山荘の運営、改築、閉鎖、売却。また、会員情報の電子管理、ホームページ開設など、数多くの難題に、関係者が総力で誠実に対処してこられた経緯に改めて、感謝いたします。

90周年記念誌の制作も担当しましたが、100周年の節目につながる母校や同窓会の歴史を滞りなく若い世代に伝えるために正確な年表を作り、昭和から平成、令和と続いてきた同窓会活動の紹介に努力しました。

ワカバ会の貴重な歴史や活発な文化活動が今後も、継承、発展することを祈ります。

3. 次の100年へ、伝統を未来の世代へ手渡す架け橋として

2年後、ワカバ会は創立100周年を迎えます。この大きな節目を前に100号という記念すべき数字に達したことは、これまでの長い歴史の中で、細い糸を紡ぐように会報のバトンを絶やさず繋いでくださった先輩方、そして何よりも、毎号の到着を心待ちにし、維持会費やご寄付で支え続けてくださった会員の皆様の深い母校愛があったからに他なりません。100冊の歴史は、そのまま私たちの絆の深さそのものです。近年は個人情報保護の観点から、写真や固有名詞の掲載に制限があり、より慎重な対応が必要となっています。タブロイド判の時代のような自由な紙面をうらやましくも思いつつ、時代に即した会報作りの重要性も痛感しています。この100号を新たな出発点として、伝統を次の世代へしっかりと手渡し、これからの新しい時代へ向けてさらなる飛躍を目指します。

改めまして100号に至るまでに多方面からご協力くださいました皆さまに御礼申し上げます。

※今回掲載した会報画像では個人情報の部分にはボカシを入れてあります。

※ワカバ会ホームページより会報のバックナンバーが閲覧できます。今回ご紹介しきれなかった会報を是非ご覧ください。興味深い記事が満載です。

学校だより

三田高等学校 副校長 滝澤 美恵

4月に都立小松川高等学校から三田高等学校に着任いたしました副校長の滝澤美恵です。どうぞよろしくお願いいたします。

三田高校では、今年度も生徒たちがさまざまな場面で輝いています。今回は、野球部マネージャーの山田優菜さんに起きた二つの「奇跡」をご紹介します。

昨夏の大会後、三田高校野球部は部員がいなくなり、廃部の危機に直面しました。しかし山田さんは、「ここで終わらせたくない」という強い思いを胸に、中学校や河川敷のグラウンドを訪ねて部の魅力を伝え、SNSで発信し、希望を失わず仲間を探し続けたのです。そのひたむきな努力は実を結び、新たに四名の部員が入部。野球部は国際高校、駒場高校との連合チームとして今夏の東東京大会に出場することができました。

私はその姿を朝日新聞の記事で読み、「三田高校にはこんなにも誇らしい生徒がいるのか」と胸が熱くなりました。

そして、もう一つの奇跡が起こります。山田さんの行動は多くの人々の心を動かし、「あきらめないことの尊さ」を体現する存在として高く評価されました。その結果、全国高校野球選手権大会開会式の入場行進先導役に選出され、女子生徒として史上二人目となる快挙を成し遂げたのです。

甲子園の大舞台で堂々と先頭を歩く山田さんの姿は、多くの人に勇気と希望を届けました。三田高校には、山田さんのように夢や目標に向かって挑戦し続ける生徒たちが数多くいます。卒業生の皆様、今後とも三田高校への温かいご支援とご声援をよろしくお願いいたします。

会報100号記念特集

あきらめないマネージャー、甲子園の土を踏む

～ 野球部マネージャー 山田優菜さん(3年1組)に聞く ～

小学校と病院に隣接するという立地条件から三田高校には野球部がなかった。学校群制度の時代、野球をやりたい男子が三田に振り分けられて涙を吞んだ話は「三田高あるある」だった。そんな三田高にも2006年、先生や生徒の熱意が実り野球部が誕生した。練習場所もままならず、校内の階段で筋トレする姿を何度も目にした。それでも部員たちは頑張り、都大会で白星を挙げたこともあった。しかし、昨年危機が訪れた。入試の男女枠撤廃の影響で男子生徒が減り、野球部員がゼロになってしまった。その危機を救い、夏の甲子園開会式の先導に抜擢された野球部マネージャー、山田優菜さんの活躍は「学校だより」で滝澤副校長先生が取り上げてくださった通りである。ワカバ会員からも多くの反響が寄せられた。

8月末、2学期が始まったばかりの放課後、野球部顧問の児島諒先生と山田さんにお話を伺うことができた。

「夏の都大会出場の際のアンケートに、部員ゼロから都大会に出場できるようになるまでの経緯を書いたんです。その回答が朝日新聞の目にとまり、6月19日の朝刊の記事になりました。その後7月中旬に開会式先導のオファーがありました。3年で受験も控えているので、8月5日の開会式までは忙しい日々でした。」とほほ笑む山田さん。

暑い中の前日リハーサル。児島先生もご家族も現地で山田さんの勇姿を見守られた。主催者側から特に指示があったわけではないが、さすが聡明な三田高生。自己判断でスカート丈はいつもより少し長めに。リリシさがより際だった。大役を果たした山田さんには瓶に入った「甲子園の土」が進呈され、学校でも保管・展示場所を検討中だそうです。

部員がゼロになってからの山田さんを支えてこられた児島先生。「廃部目前でも一人でネットに向かってノックの練習をしたり、1日5時間も中学校やリトルシニアを回って勧誘活動をしていました。ただ野球部を守りたい一心で頑張る姿をリスペクトしていました。その努力が認められて日の目を見られたことが何よりも嬉しいです。その結果としてこんな大役を務めさせてもらえて本当にご褒美をもらった気持ちです。」と自分のことのように嬉しそうに話してくだった。

小さいときから野球が大好きだった山田さんは国公立大学を目指し、次への挑戦に向かっている。「大学でも何らかの形で野球に携われたらいいと思っています。」

山田さんの背中を見て後輩たちも頑張っているそうだ。来春、入部希望者が増えて、いつの日か、「都立の星」として甲子園に出場できることを夢見ている。



開会式で先導する山田さん
(写真：朝日新聞社)

頑張れ！
三田高硬式野球部！



児島先生と山田さん(ワカバ会事務局にて)

Information

三田27回生同期会のお知らせ

古希の節目をむかえ同期会を開催予定です。

日時：2027年4月17日（土）13時スタート

場所：田町／三田周辺

少し先となりますが、ぜひ今からスケジュールを空けておいてください。

詳細情報はQRコードのリンク先をご覧ください。

併せて簡単なアンケートにご協力をお願いします。

幹事：硬式テニス部 (mita27.dokikai@gmail.com)



三田37回生「還暦記念同期会」のお知らせ

詳細はワカバ会HPにて11月中に告知いたします。

新刊紹介

書名：風の道しるべ 宮沢賢治と現代

著者名：ソコロフ山下聖美（三田43-4）/日本大学芸術学部教授

出版社：中日新聞社

定価：1,650円

<著者よりひと言>

宮沢賢治は「風」の人である——。賢治の物語空間には風が多く描かれ、国境や常識、異なる価値観を軽々と飛び越えていく。賢治は目に見えない風を通じて、何を伝えようとしたのか。そのメッセージの普遍性を読み解く1冊。賢治の代表作『銀河鉄道の夜』をアニメ映画化したアニメ界の大家・杉井ギサブローさんと著者との対談も収載。

書籍紹介

書名：兄貴！メシですよ

著者名：やじま冬美（三田58-1）

出版社：講談社（モーニング）

価格：792円（税込）

<著者よりひと言>

何者かに撃たれ、記憶喪失&アホになった兄貴を元に戻す鍵は、弟分の手料理！ヤクザの兄貴&弟分の、ひとつ屋根の下グルメコメディ。既刊3巻まで発売中です！1話はまるごと試し読みはこちら→



ワカバ会100周年カウントダウン企画 ヤングリースと愉快な仲間たちによるクリスマスコンサート

日時：2026年11月21日（土）13:30開場、14:00開演、終演15:30（予定）

場所：岩本町ほほえみプラザ1階多目的ホール（千代田区岩本町2-15-3）

アクセス：都営新宿線「岩本町駅」から徒歩5分（岩本町駅A5番出口を出て左）

JR秋葉原・東京メトロ日比谷線「秋葉原駅昭和通り口（東口）」から徒歩10分（日比谷線秋葉原駅5番出口を出て右、岩本町方面）

参加費：1,000円（申込不要（チケットなし）、当日受付払い）

問合せ：志田雄啓（三田46-1ワカバ会理事）

ヤングリースを中心として、三田フィル、ワカバ会有志の皆様

とともに、きよしこの夜、ジングルベル、などを演奏。オペラ歌手志田雄啓氏のO Holy Night、ジャズシンガー三橋りえ氏のWhite Christmasなどのプロの演奏も楽しめます。「校歌」や、「心の熱いうちに」も演奏します。皆様のご参加お待ちしております!!

初夢コンサート

今回の初夢コンサートの演目は「ウィーンの調べと、笙の魅力、若者と共に」とのテーマで、ゲストに雅楽の楽器 笙のカニササレアヤコさんをお迎えします。彼女は笙の音色、特徴などユーモラスに紹介、2018年には「R-1グランプリ」受賞、「題名のない音楽会」に今年の6月に出場されています。お笑い芸人としても活躍している方なので楽しいひと時となることでしょう。

日時：2027年1月22日 開場18時30分 開演19時

会場：大田区民プラザ（東急多摩川線下丸子駅1分）

問合せ：田中節子（宗近）（三田10-5）

電話・FAX 03-3761-0980

毎回ワカバ会の沢山の方に応援していただき感謝の思いでいっぱいでございます。

大変申し訳ございませんが私も87歳になりまして足腰が良くなく、今回を持ちまして終了させていただきたいと思っております。最後のコンサートで残念でしたが、アブリコ大ホールが工事のため借りられず、下丸子の大田区民プラザでの開催となりました。

本当に長い間の応援に心からの感謝を込めて御礼を申し上げます。本当に本当に有難うございました。

初夢コンサート 田中 節子

三田フィルハーモニーオーケストラ 第35回定期演奏会

日時：2027年5月9日（日）午後開演

会場：ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮：田中 健

オルガン：浅井 美紀

曲目：ワーグナー／「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第1幕への前奏曲

ブラームス／ハイドンの主題による変奏曲

サン＝サーンス／交響曲第3番「オルガン付き」



ミシュラン1つ星シェフによるフランス料理フェア

このたびグランドプリンスホテル高輪 レストラン「トリアノン」にて、ミシュラン1つ星シェフ、バンジャマン・パティシエ氏によるフランス料理フェアを開催いたします。バリからTGVと車で3時間弱かかるシェフのレストランに行かなければ味わえない、シェフのエスプリと技術がたっぷり詰まった美しいフランス料理をお楽しみいただける貴重な機会です。ぜひ皆様のご来店をお待ちしております。

日時：2027年2月23日（火・祝）～24日（水）

会場：グランドプリンスホテル高輪 レストラン「トリアノン」

コース料金（飲み物別）：一般・35,000円（税込・サ別）、

プリンス会員・30,000円（税込・サ別）※無料で会員登録いただけます。

問合せ：フランス文化を識る会

倉重絵留奈（三田47-5）

私の近況

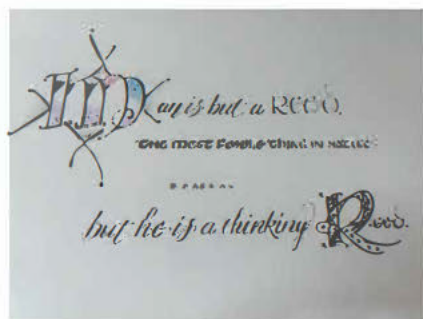
私の楽しみ

K. S. (Y)

(三田8-2)

長年腰痛に悩まされ不便な日常を強いられている昨今ですが水泳を続けています。それは数年前オリンピック選手だったコーチに出会い、泳法を腰に負担の掛からない私独自のものに変えて頂いたからです。楽に泳げるようになった今は週3-4日、水中ウオークや千米を3-40分程のペースでゆっくり泳ぎ、年平均山手線4周相当を泳いでいます。

そしてもう一つの楽しみはカリグラフィーです。世界には3千以上の言語とそれに伴う書体があるそうですが、習得した英語の沢山の書体を基に私だけの美しい書体を創りたいと試行錯誤中です。夫の手を借りながらの生活ですが水泳の他に、好きなクラシック音楽やモダンジャズを聴きながらカリグラフィーやクロスステッチ刺繍をしたり、海外(最近は特にスウェーデン)の推理小説を読む事が私の今の楽しみです。



「考える輩」

私の Perfect Days

K. K.

(三田18-7)

13年前、65歳で完全リタイアしました。もともと暇でいることが苦にならない性格で、「何もしないこと」が得意です。家事は洗濯と食後の後片付けを担当、料理は妻に任せきりです。朝は7時頃起床し、血圧を測定しテレビを見ながら朝食。洗濯物を干し終えると新聞に目を通し、パソコン作業などで過ごします。昼食後は15分ほど昼寝をし、その後はカメラを片手に8,000歩を目標にウォーキング。夕方マンション隣接の温泉施設で温泉気分を味わい、夜はワインで晩酌をして、数独を解く—これが日課です。

友人との飲み会や旅行などの予定が入るとこのルーティンが崩れ、なんとなく落ち着きません。一方、母校の大学で就活生の面接練習やキャリア相談の手伝いもしています。若い人たちとの会話は何よりのアンチエイジングになっているようです。

こんな平凡な毎日こそ、私にとっての『Perfect Days』です。



日比谷公園・松本楼での昼呑み会より

ずっと元気に楽しく!

大瀧 保子
(寺尾)

(三田28-6)

皆様、お元気でしょうか?もうすぐ70歳、30年近く続けた薬局薬剤師の仕事が気力、体力のあるうちに、2年前に週3日勤務に減らしました。仕事が頂けることに感謝し、まだ何か社会の役に立つことはないかと模索の日々です。

同期の仲間達とは飲み会したりゴルフに行ったり、性格かなり強めの私ですが、楽しく遊んでもらっています。ゴルフはもはや上達とかではなく、スコアを正しく数え、一日喋って歩いての認知症予防が目的となりました。趣味のジム通いも30年以上続き、今は週3日汗を流し体力維持に努めています。近所に住む5才と3才の孫が可愛くて、親の目をかすめて甘やかしているばあちゃんです。

これからも仕事、遊びそして孫のサポート等、精一杯楽しみながら、皆様と共に健康で穏やかに歳を重ねていければと思っています。



世代交代は未だ早い!

里見 嘉重

(三田38-7)

卒業してから早くも40年。過ぎてしまうと、あっという間だった気がします。精神年齢は高校時代とあまり変わっていないかもしれません(笑)。

現在は化学系の会社に勤務し、近年は海外拠点を訪問する機会も多く、忙しい日々を送っています。リーマンショック、震災、コロナ禍など様々な出来事に翻弄されてきましたが、「命までは取られない」と開き直って、何とか乗り越えてきました。その支えとなったのは、三田高校水泳部で過ごした3年間の経験です。あの頃に培った精神力は、今でも私の大きな財産となっています。

家庭では3人の息子たちに身長を追い越され、世代交代を実感する毎日です。健康面での心配も増えましたが、文武両道をモットーにゴルフや麻雀を楽しみながら過ごしています。これからも新しいことに挑戦しつつ、旧友との交流を大切にしていきたいと思っています。同窓生の皆さまのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



長男&次男にリフトアップ

三田高校 おれの 母校

波多江 伸夫
(三田48-6)

コンテナ船の海運会社で、サラリーマン生活をして、20年ちょっと。通勤するオフィスは、大崎、浜松町、天王洲アイルと移ってきた。おもえば、社会人になってからも、高校入試の第一学区(千代田、港、品川、大田)の中を、うろうろしていることに気が付いた。

三田高校に関係があると、なにかと、同僚に自慢している。

ドラマ「とと姉ちゃん」が放送されているときは、あっ、とと姉ちゃんは、オレの先輩。子どもが生まれたママには、絵本「おふろでちゃぶちゃぶ」見ましたか？ あれ、オレの先輩。ドラえもんがでたら、おっ、ドラえもんはオレの先輩。

最近、会社の中で、オフィスの引っ越しのうわさがある。オフィスを、田町駅の近くに移すらしい。田町に行ったら、うれしいな。きっと、同僚に言うだろう。「東京タワーのほうに行くと、三田高校。そう、おれの母校。」



ありがとう 三田高校！ すごいぞ 三田高校！

やじま 冬美
(三田58-1)

三田高校を卒業して20年が経つようです。私は今、漫画を描くことを生業にしています。

1か月先はどうなっているかもわからない、そんななかなか人にお勧めはできない難儀な職業ではありますが、周囲の人たちに助けられながら、机に向かう毎日です。

その日々の中でふと、鮮やかに騒がしく一生懸命だった高校生活を思い出し、目を細めることがあります。若気の至りでやらかしたあれやこれやを思い出し、反省で頭を抱える夜もあります。それを待たまお酒を傾け、語り合える友と出会えたのも三田高校です。

ありがとう三田高校！間違いなく今の偏差値の三田高校には、私は入学できないぞ！すごいぞ三田高校！

さて、そろそろ疎遠だった同級生たちとの再会の日も近いのではないかと考える今日この頃、皆さんお元気でしょうか？元氣だといいなと願っています。



10年後も 続く 三田での 出会い

黒木 莉奈
(畠山)
(三田68-2)

三田高を卒業して約10年、あっという間に28歳になりました。当時から海外旅行に興味があり、旅行会社で働きたいという夢を叶え、入社より海外旅行の手配を担当しています。中堅社員となった今、課のリーダーとして悩むことも多い日々ですが、たまに訪れる海外出張や優待をご褒美に仕事に励んでいます。

また、プライベートでは三田高時代から変わらず親交のある友人の結婚式に参列しました。大切な友人の新たな人生の門出をお祝いでき、自分のことのように嬉しく思いました。また、高校時代から一緒に過ごしてきた日々が思い返され、感慨深い一日となりました。三田高で出会えた仲間は私にとって一生の宝物です。これからもこのご縁を大切に、多くの思い出を重ねていきたいと思っています。



自分の ための 「勉強」

M.M.
(三田78-5)

受験勉強が終わり、やっと勉強から解放されると思っていた大学生生活。意外にも自ら「学びたい」と思うことが多く、結局勉強三昧の日々を送っています。今も大量のレポートに追われながらこの文章を書いています。どこか充実した気持ちです。

「勉強」といっても机に向かってペンを動かすことだけでなく、新しく始めた女声合唱や就活イベント・大学近くのごはん屋さん開拓など(写真はサークルの先輩に連れて行ってもらったレストランのピザです)、新しいことすべてが私にとっては「勉強」のひとつです。自分のための「勉強」ができる今がとても楽しく、この環境で学べることに感謝しながら毎日を過ごしています。これからたくさんの方のことを「勉強」して、自分らしく生きていければいいなと思っています。



2025年度理事会報告

第1回 (2025.4.22 18:00~20:00)

各委員会報告、2024年度決算及び事業報告について、2025年度総会について、ワカバ会創立100周年記念事業計画について

臨時理事会 (2025.5.18)

代表理事選任について

第2回 (2025.6.24 18:00~19:20)

各委員会報告、2025年度総会報告について、2025年度奨学生決定について、ワカバ会創立100周年記念事業について、途中入会希望者承認について、Young Leavesサマーコンサートチラシ文言について

第3回 (2025.9.17 18:00~20:35)

各委員会報告、ワカバ会創立100周年記念事業について、グッズキティの製作について、会報印刷代金の半金前払いについて

第4回 (2025.11.19 18:00~19:35)

各委員会報告、ワカバ会創立100周年記念事業について、グッズキティの製作について、事務局時給の見直しについて

第5回 (2026.1.21 17:40~18:45)

各委員会報告、2026年度総会日程について、2026年度奨学金(丸山・桂葉)募集要項(案)について、わかば99号印刷業者について、2026年度企画行事(案)について、創立100周年記念事業スケジュールについて

第6回 (2026.3.18 18:00~20:15)

各委員会報告、2026年度予算および事業計画について、ワカバ会創立100周年記念総会について、故百田葉子様遺言執行人唯根貞生様より送金された寄付金1000万円の運用方法について、2026年度奨学金募集要項および願書への追加事項について、事務局年次有給休暇について

委員会報告

◆総務委員会

- ①本年度ワカバ会総会は、5月17日(日)母校にて開催しました。ホームカミング該当学年の方も多数参加してください、総会、懇親会とも無事執り行うことができました。
- ②今年度も丸山記念奨学生、桂葉奨学生を募集し、選考委員会において協議の上決定しました。
- ③2017年9月よりトランクルーム事業者へ大田区鵜の木土地(旧駐車場)を賃貸しています。

委員長 西上原節子(24-5) 嶺 直利(35-3)
平山 孔嗣(29-2) 市来陽一郎(39-4)
青山 真司(30-3) 鈴木 俊(47-3)

◆会計委員会

会計委員会は、ワカバ会の財務会計業務全般を担当しております。日頃、維持会費に納入に際しましては格別のご協力いただき感謝申し上げます。

2万名弱のワカバ会会員の皆様への広報、親睦、公益活動及び丸山記念奨学金、桂葉奨学金などの三田高校への貢献等の財政基礎として、皆様からの維持会費及び新入会員からの入会金は土地賃貸収入と共に柱となっております。現在は新卒業生全員入会から任意の入会となり、入会金も2,000円に減額しておりますが全員参加には程遠く、ますます維持会費の重要性が高まってきております。納付方法の利便性が高まるよう引き続き努力してまいります。

諸物価高騰の折、経費を節約するのは容易ではありませんが、100周年に向け、動きも活発になってまいりました。新しい事業も充実させ、ワカバ会発足以来の「卒業生は母校とともに発展する」を実現できる会務を遂行するため努力いたします。一層のご協力ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

委員長 平山 孔嗣(29-2) 上田みつ子(28-5)
片山 優子(19-2) 吉崎 文保(58-6)

◆IT委員会

IT委員会では、ワカバ会の情報システム全般を担当しています。今年度は、事務局の更なる業務効率化を図るため、ノートPC1台を新しく購入いたしました。また、10月以降には名簿サーバー環境のリブレースを予定しており、会員情報の安全かつ安定した管理基盤の維持に努めてまいります。今後も情報セキュリティをしっかりと確保しつつ、会員の皆様の利便性を高める施策を継続して進めてまいります。また、ワカバ会ではホームページのほかにInstagram(インスタグラム)での情報発信も行っています。日々の活動や旬な情報をお届けしておりますので、ぜひともフォローをお願いします!

委員長 小針 淳(40-3)
田中 浩(32-5)

◆企画委員会

企画委員会では毎年多様な行事を企画・実施しており、お蔭様で幅広い層の会員の方から大変好評をいただいております。今年度も多くの行事を企画しました。

- 1) 第4回女流義太夫公演「花のように香れ」 2026年7月7日(火)実施
- 2) 第17回筑波宇宙センター見学会 2026年7月25日(土)実施
- 3) 第42回ワカバ会観劇会 宝塚歌劇団 宙組公演「黒蜥蜴」
2026年8月28日(金)実施

- 4) 第23回同窓会ギャラリー HP上での開催
2026年9月8日(火)~9月15日(火)実施
- 5) 第12回東京ステーションホテル見学会&ランチ
2026年9月25日(金)実施

- 6) 第8回歴史を巡る旅 お茶の水界限 2026年10月2日(金)実施
- 7) 第43回親睦ゴルフ会 2026年10月15日(木)実施
- 8) 第43回ワカバ会観劇会 前進座公演「出雲の阿国」
2026年10月18日(日)実施

- 9) 第9回東海道を歩こう(二宮~小田原)~専門ガイドの案内付~
2026年10月28日(水)実施
- 10) 第44回ワカバ会観劇会 明治座「メイジ・ザ・キャッツアイ」
2026年10月30日(金)実施

- 11) 第2回いざわさきひろ美術館・東京 見学会
2026年11月6日(金)実施予定
- 12) 第4回バンド&ボーカルジャズコンサート2026
2026年11月14日(土)実施予定

- 13) 第9回迎賓館赤坂離宮見学会 2026年12月4日(金)実施予定
- 14) 第45回ワカバ会観劇会 「新春浅草歌舞伎」
2027年1月15日実施予定

- 15) 第9回ちよだ芸術祭グランドフィナーレ
2027年2月21日(日)実施予定
- 16) 第13回オペラ鑑賞会「蝶々夫人」 2027年3月6日(土)実施予定

- 17) 第47回ワカバ会観劇会 「シルク・ドゥ・ソレイユ クーザ」
2027年3月12日(金)実施予定
- 18) 第46回ワカバ会観劇会 劇団四季「リトルマーメイド」
2027年3月27日(土)実施予定

委員長 志田 雄啓(46-1)
内堀 りえ子(24-1)

◆広報委員会

例年通り、「わかば」春号と秋号を発行しました。そしてこの秋号が、第100号になります。

委員長 田中 浩(32-5)
采澤あさひ(58-7)

2026年度収支予算

自2025年4月1日至2026年3月31日

(単位:円)

科 目	2025年度予算額	2025年度決算額	2026年度予算額	備 考
収入の部				
1.財産運用収入				
財 産 利 息 収 入	3,000	55,439	40,000	
2.会費・入会金収入				
入 会 金 収 入	300,000	278,000	300,000	入会者減
維 持 会 費 収 入	6,600,000	6,736,000	6,600,000	
3.事業収入				
総 会 費 収 入	400,000	453,000	400,000	
商 品 売 上 収 入	200,000	295,607	1,050,000	
土 地 賃 貸 収 入	8,200,000	8,249,427	8,200,000	
4.寄付金収入				
寄 付 金 収 入	0	10,712,952	0	
5.雑収入				
雑 収 入	0	38,730	0	
6.繰入金収入				
公益目的支出準備金繰入金収入	5,000,000	5,000,000	15,000,000	
当期収入合計 (A)	20,703,000	31,819,155	31,590,000	
前期繰越収支差額	1,031,680	1,031,680	2,449,912	
収入合計 (B)	21,734,680	32,850,835	34,039,912	
支出の部				
1.事業費				
総 会 報 発 行 費	1,800,000	1,828,997	1,800,000	
会 報 発 行 費	5,300,000	5,281,207	5,500,000	
行 記 念 事 業 費	160,000	294,601	300,000	
商 品 学 企 画 費	1,200,000	1,044	800,000	100周年準備
商 奨 金 支 出 費	60,000	25,740	5,060,000	
土 地 賃 貸 直 接 事 業 費	1,460,000	1,700,000	1,710,000	
給 与 交 通 費	3,800,000	3,714,740	3,800,000	
旅 費 交 通 費	3,500,000	3,570,884	3,500,000	
通 信 運 搬 費	21,000	46,544	21,000	
消 耗 品 費	385,000	366,880	420,000	
通 信 運 搬 費	84,000	95,451	84,000	
通 信 運 搬 費	168,000	207,278	210,000	
印 刷 製 本 費	126,000	123,816	126,000	
会 費 報 管 理 費	21,000	31,667	35,000	
情 報 管 理 費	336,000	392,851	378,000	
会 議 費	210,000	172,624	210,000	
光 熱 費	56,000	47,095	56,000	
公 租 公 課 費	0	7,000	0	
雑 費	210,000	226,127	210,000	
渉 外 費	0	0	0	
2.管理費				
給 与 交 通 費	1,500,000	1,530,379	1,500,000	
旅 費 交 通 費	9,000	19,948	9,000	
通 信 運 搬 費	165,000	157,234	180,000	
消 耗 品 費	36,000	40,908	36,000	
通 信 運 搬 費	72,000	88,833	90,000	
印 刷 製 本 費	54,000	53,064	54,000	
会 費 報 管 理 費	9,000	13,572	15,000	
情 報 管 理 費	144,000	168,364	162,000	
会 議 費	90,000	73,981	90,000	
光 熱 費	24,000	20,183	24,000	
公 租 公 課 費	0	3,000	0	
雑 費	90,000	96,911	90,000	
渉 外 費	0	0	0	
3.固定資産取得支出				
什 器 備 品 費	200,000	0	2,500,000	
4.目的預金積立支出				
記 念 事 業 積 立 金 繰 入	0	10,000,000	3,000,000	
5.予備費支出				
予 備 費	100,000	0	100,000	
当期支出合計 (C)	21,390,000	30,400,923	32,070,000	
当期収支差額 (A)-(C)	-687,000	1,418,232	-480,000	
当期繰越収支差額 (B)-(C)	344,680	2,449,912	1,969,912	

ワカバ会100周年!

2028年6月4日(日) 高輪ゲートウェイで 会いましょう!!



会場は「TAKANAWA GATEWAY Convention Center」に決定!

ワカバ会100周年まであと1年半。それに伴いいろいろな記念行事や記念誌の発行も行います。

カウントダウンが進む中、会場が決定しました!!

高輪ゲートウェイ駅直結のTAKANAWA GATEWAY Convention Centerです。

TAKANAWA GATEWAY CITYは2028年には開業2年を迎える新しい施設です。新幹線や空港からのアクセスも抜群。駅からは雨にも濡れずに会場入りできます。記念式典の後にはお茶やショッピングも楽しめます。遠方の方もこの機会に是非、お越しください。

今後も新情報をお届けします。会報、ホームページ、インスタのチェックをお願いします。

<記念誌委員会より>

これまで、60周年の記念誌「私たちの昭和史」発行に際しては、リレー対談が行われ、高校19回生までの座談会の様子が掲載されています。それ以来、特に座談会は開催されていません。委員会では、それ以降の方々に集まって、当時の学校の様子や思い出を語っていただき、若い世代の方々までリレーを繋げていただきたいと思います。同期会、クラス会、部活動のOB・OG会などで集まった、あるいはこれから集まるということがありましたら、ワカバ会にご連絡をお願いいたします。99号でアンケートに協力してくださった方々にも興味深い寄稿をいただいておりますので、掲載を予定しています。これからもアンケートは続いていきますので、ぜひ、ご協力をお願いします。学校の思いで、三田界限の様子、在学中にあった出来事等、どんなことでも構いません。

充実した記念誌を作っていきたいと委員会一同がんばります。

アンケート及びその他ご協力はQRコードよりお申込みください。
メールや郵送でも受け付けております。



祝 ダンス部 & 吹奏楽部



三田高校ダンス部全国8位! ~かわいいだけじゃありません!~

三田高校ダンス部(MDT)は、2026年9月6日に日本工学院アリーナで開催された「第19回日本高校ダンス部選手権(ダンススタジアム)」のビッグクラス全国決勝大会に出場し、全国8位の成績を収めました。

三田高ダンス部は、都立高校の中でもトップクラスの実績を誇る強豪校です。9月現在、コーチ不在のため、振付師にお力添えいただき、キャッチーな振りが特徴となる新しい三田をお届けした夏の作品となりました。

予選を1位、準決勝を8位で通過して挑んだ決勝大会。部員達は自作のアイドル衣装をまとい、可愛さを追求した息ぴったりのダンスを披露し、会場を大きく盛り上げました。

(2025年度 桂葉奨学生)



吹奏楽部 2チームが金賞

2026年8月に開催された第66回東京都高等学校吹奏楽コンクールにて、都立三田高校吹奏楽部は出場した2チームがそろって金賞を受賞しました。1年生8人のC組は「黄金都市『エルドラード』」、1・2年生35人のB組は「リュミエール・エテルネル」をドラマチックに奏で、5年連続の素晴らしい成果を収めました。

金賞までの道のりは容易いものではありませんでしたが、話し合いを重ね、心をひとつにしてつかんだ栄光です。

(2022年度～2026年度 桂葉奨学生)

ワカバ会丸山記念奨学金は10名、桂葉奨学金は2団体と個人2名に給付

三田高校在校生への2つの奨学金制度-「ワカバ会丸山記念奨学金」と「桂葉奨学金」-は一般社団法人ワカバ会の主要な公益事業です。

「ワカバ会丸山記念奨学金」は6月の理事会で2026年度の奨学生10名を決定しました。7月に半年分(6万円)を本人に手渡しました。今年度は8名募集したところ、応募者は10名でした。奨学金委員会で、本人の応募理由、担任の先生の推薦文を審査した結果、1年生4名、2年生3名、3年生3名の10名を奨学生に選びました。ワカバ会会員から奨学金用に寄せられたご寄付により当初予算より2名多く給付することができました。

第5代校長百田次朗先生ご遺族からのご寄付で設立した夢サポート「桂葉奨学金」は受験、留学、部活、研究等、幅広い分野を対象とし夢実現を支援するための制度です。今年度は2団体、個人6名の応募があり、願書には各志願者の熱い気持ちが込められていました。奨学金委員会で慎重に審査し、同じく6月の理事会で2団体(吹奏楽部、水泳部)と個人2名に決定しました。給付額は内容に応じて配分しました。桂葉奨学生の成果報告は次号会報に掲載の予定です。

2025年度維持会費納入者

前号(99号)において、校了日の関係で2025年度維持会費納入リストに掲載できない方がいらっしゃいました。2026年3月7日から3月31日までに納入くださった方をご報告いたします。ご協力ありがとうございました。(敬称略)

会員専用ページにて閲覧可能

追悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。9月10日までにご連絡を下された方を掲載しています。(敬称略)

会員専用ページにて閲覧可能

お見舞い

7月28日の最大震度7の令和8年熊本地震をはじめ、各地でこれまでに経験したことがないような豪雨や台風など自然災害が多発しました。被災された方、影響を受けられた方に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復旧をお祈りいたします。

ご寄付御礼

会員専用ページにて閲覧可能

左記のご寄付をいただきました。(2026年8月末現在)
奨学金ならびに会の運営のために使わせていただきます。
ありがとうございました。

事務局だより

- ◆ワカバ会ではプライバシーポリシーを定めております。ホームページに掲載しておりますのでQRコードよりアクセスしご確認ください。
- ◆同期会・クラス会のための名簿・宛名ラベルを幹事の方にのみ、有料で提供しております。当会所定の申込書に幹事2名の氏名・連絡先、開催日、同期会・クラス会開催目的以外に名簿を使用しない旨の誓約を記入し提出していただきます。
- ◆同期会・クラス会の幹事への情報提供または会報(維持会費納入者リスト)への氏名掲載を希望されない場合にはその旨をワカバ会事務局までご連絡ください。速やかに対応させていただきます。
- ◆ホームページに「同期会のお知らせ」のコーナーを作りました。お知らせご希望の方は事務局までご連絡ください。
- ◆Instagramを日々更新中です。企画行事報告など、ホットな情報をお届けしています。QRコードよりアクセスしフォローをお願いします。



Instagram

ホームページでの会報閲覧について

会報はホームページでも閲覧可能となっておりますが、一部個人情報掲載された記事につきましてはパスワードの入力が必要となっています。ホームページのトップページ「会員専用」のアイコンをクリックし、閲覧用パスワード を入力して閲覧してください。このパスワードはワカバ会員以外には口外なさないよう、ご協力をお願いいたします。

編集後記

今回、「わかば」100号を発行するにあたり、考えてみました。会報誌だけでも100号、そして、ワカバ会は同窓会発足から2年後には100年。繋がりとっても一直線的に繋がってきたわけではなく、縦にも横にも卒業生たちは繋がってきたのだと思います。更には、奥にも手前にも、3次元的に繋がってきたのだと思います。「わかば」を読んでくださったり、総会に参加されたこと、偶然仕事で、等々これからいろいろな繋がりを大切にしていきたいものです。(HT)

ワカバ会オリジナルグッズ

お申し込みは電話・FAX・E-mailにて、事務局まで
※柄・色によって在庫がないものもあります。ワカバ会までお問合せください。

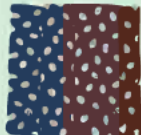


★裏返っても元通り!!
耐風折傘
大判65cm・
グラスファイバー骨
各950円

校章ストラップ
(黄色、シルバー、
ブロンズ)
各600円



バンダナ
和柄とチェック
各700円



バンダナ免柄
各700円



バンダナ 各700円



ミニタオル
ハンカチ
各400円

シャープペン
各200円



3色4芯ボールペン 200円



メタルボールペン 各200円



タオルマフラー
各900円

ナチュラル
リネンマフラー
各1,500円



レターセット
各150円
一筆箋
各100円
クリアファイル
各50円

会報わかば 100号



府立第六高等女学校・都立三田高等学校同窓会 一般社団法人ワカバ会

〒108-0073 東京都港区三田1-4-46 TEL: 03-3451-0227 FAX: 03-3452-4590

ワカバ会

Q 検索



ワカバ会ホームページ



ワカバ会 YOUTUBE



ワカバ会 Instagram

時間: 午前10時～午後4時
休日: 金曜・土曜・日曜・祝祭日
E-mail: t-mita@wakaba-kai.org
HP: www.wakaba-kai.org/

デザイン/デザインワークK2